

**山梨リニアファンクラブ
会員募集中!**

リニア中央新幹線の早期実現に向けたサポーターを募集中です。県ホームページなどで登録して会員になると、リニア関連情報のメールマガジンを配信します。

**リニアファンクラブに
よせられた応援メッセージ**



スピードスケート選手
岡崎朋美さん

スピードスケートは、トップスピードを高めるために多くの課題に取り組まなければなりません。リニアに関わる方々も、さまざまな課題に取り組まれていると思います。その積み重ねによって、リニアが人々の夢や希望を乗せて走る日が少しずつ近づいています。私も県民の皆さんとともに、リニア中央新幹線の早期開通を応援していきます。

【問い合わせ先】
リニア推進課
☎ 055-223-1664

リニアファンクラブ

**県立リニア見学センター
に行ってみよう!**



リニアの走行試験を見学できるほか、リニアの仕組みや中央新幹線の概要などを模型や展示物などで分かりやすく紹介しています。

※走行試験は不定期に実施されます。リニア見学センターに確認してから、お出かけください。

【問い合わせ先】
☎ 0554-45-8121
都留市小形山2381

リニア見学センター



**建設推進とともに
走行実験を支援**

[県の取り組み]

県では、平成21年4月、庁内に「リニア建設推進本部」を設置するとともに、同年5月、さまざまな分野の有識者で構成される「リニア活用推進懇話会」を設置し、リニア開業に向けた諸課題への対応や、リニアを活用した県土づくりなどについて検討を行っています。

また、現在、県内では山梨リニア実験線において、JR東海などによるリニアの走行試験などが実施されていますが、県ではこれらの研究開発に対する支援、協力も行っています。



富士山をバックに疾走するリニア

**甲府盆地南部に
駅を設置**

[期待される効果]

県内では、甲府盆地南部にリニア新駅が設置されることにより、首都圏、中京圏周辺の都市と同じ時間圏になります。また、山梨県からの所要時間が90分以内の地域を1日移動圏と想定すると、リニア開業により1日移動圏内の人口、事業所数は約10倍に増加。さらに、羽田など主要な空港までの所要時間も大幅に短縮されます。その結果、県内企業の生産性向上による生産額の増加、地域間交流の活発化による県内消費額の増加、県外企業の新規立地、県外からの新規定住者の増加などが期待されます。



リニア実験線の延伸工事が進められています。
(写真は笛吹市御坂町)

**リニア中央新幹線が
実現へ大きく前進**

1990年の山梨リニア実験線の建設着手から約20年。今年、リニア中央新幹線の整備計画が決定され、2027年の東京-名古屋間の開業に向けて動き始めました。県内にも中間駅が設置され、東京とは約15分、名古屋とは約30分で結ばれます。近い将来、リニアを活用した県の活性化が期待されます。



**LINEAR
CHUO
SHINKANSEN
FROM
YAMANASHI
TO THE
FUTURE**

**リニアを活用して
「暮らしやすさ日本一」を**

[県の将来に向けて]

リニア開業のメリットを最大限に活用し本県活性化の起爆剤としていくためには、リニア開業を見据えた基盤整備や県全体の活性化策など、「リニアを活用した県土づくり」を着実に進めていくことが重要です。

今後、リニア新駅の周辺や駅からの交通アクセスなどの基盤整備、観光振興、企業誘致、定住促進といった活性化策などの検討を進め、リニアを活用した県土づくりの基本的な指針となる「リニア活用基本構想」を策定し、「暮らしやすさ日本一」の山梨県の実現に向けて取り組んでいきます。

**東京-大阪間を
約1時間で結ぶ**

[開業の意義]

東京から、山梨、名古屋、奈良などを經由して大阪までを結ぶリニア中央新幹線。所要時間は約1時間。東京圏・名古屋圏・関西圏の三大都市圏間の高速で、かつ安定的な旅客輸送を実現します。また、東海地震などが発生した場合には、東海道新幹線の代替輸送機能の役割も果たします。

さらに、山梨県を含むリニアの沿線地域にとっても、中間駅の設置により、三大都市圏とのアクセスの利便性が飛躍的に向上するため、各地域の振興に大きく寄与するものと期待されています。

- 1990 山梨リニア実験線着手
- 1997 走行実験スタート
- 2003 世界最高速度581キロを記録
- 2011 山梨県に中間駅の設置が決定
- 2027 東京-名古屋間が開業予定
- 2045 東京-大阪間全線が開業予定